

木材を利用した工法

治山工事の実施に当たっては、森林の持つ多面的機能の発揮を通じて地球温暖化防止や自然景観への配慮の観点等から、治山施設の柵工、土留工、残存型枠等に木材を使用した工法を積極的に採用し、間伐材等の利用拡大に努めています。

木製工法を駆使した山腹工(宮崎南部森林管理署管内)



木製井桁土留工と木柵工

山腹崩壊箇所の木柵工

(熊本南部森林管理署管内)

間伐材を利用した残存型枠工法

(大分西部森林管理署管内)



木製床固工及び木製沈床工・木製護岸工 (都城支署管内)



丸太法柁工 (鹿児島森林管理署管内)



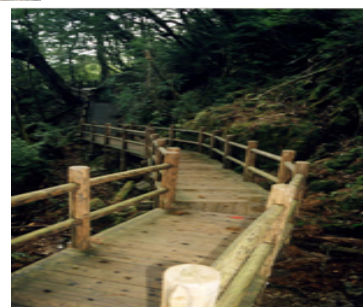
丸太防風柵工 (福岡森林管理署管内)



◁ 木製土留工と木柵工 (都城支署管内)



木製土留工(ウッドブロック) (大分森林管理署管内)



木製歩道 (屋久島森林管理署管内)